

ロシアの武力侵略と核兵器使用の策動に強く抗議し、平和な世界の構築を損なうあらゆる策動に反対します

2022年3月17日

日本科学者会議東京支部常任幹事会

2022年2月24日、ロシア軍はウクライナ共和国への理不尽な軍事侵略を開始しました。

ウクライナの各地では、兵士のみならず、子どもを含む多くの市民の命一かけがいの無い命が、刻々と奪われています。さらにプーチンロシア大統領は、核兵器の使用さえ示唆するという、人類の存続すら危険にさらす策動さえみせています。これらは、人々が過去多くの犠牲を払って平和を求めて築いてきた国際法への明白な違反であり、自ら常任理事国である国際連合の憲章に反するものです。

同時に、この機に乗じて、日本国内では憲法を改悪する動きが強まり、2月27日のTV番組では、安倍元首相が日本の「非核三原則」に反する「核共有」を示唆する発言を行いました。唯一の被爆国に生きる私たちは平和を希求する道に逆行するこれらの動きを断じて許すことはできません。

日本科学者会議東京支部は、1965年の創立以来、一貫して日本の科学の自主的・総合的な発展を願い、科学者としての社会的責任を果たすため、核兵器の廃絶を含む平和・軍縮の課題、環境を保全し人間のいのちとくらしを守る課題に取り組んできました。

私たちは、今、ロシアのウクライナへの侵略に抗議し、日本国内はもとより、ロシア国内で侵略に反対する勇気ある人々、そして世界の平和を求める全ての人々と連帯し、ロシア軍が一刻も早く攻撃を中止し、ウクライナから撤退し、平和な世界の構築に向かうことを強く求めます。